

東北公益文科大学大学院 博士論文審査【課程博士】および学位取得申請のための手引き

1. ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

必要な単位数を修得し、別に定める審査基準による博士論文審査に合格した人材に学位を授与します。

2. 博士論文審査【課程博士】のスケジュール

日 程	内 容
2023年7月14日（金）17時00分	予備審査申請期限
2023年8月上旬	「博士論文審査【課程博士】予備審査にかかる受理審査結果通知書」の送付
2023年8月～10月	予備審査
2023年10月31日	「博士論文審査【課程博士】予備審査結果通知書」の送付
2023年12月1日（金）17時00分	審査申請期限
2024年1月下旬	「博士論文審査【課程博士】受理審査結果通知書」の送付
2024年1～2月	審査および最終試験
2024年3月上旬	「博士論文審査【課程博士】審査結果報告書」の送付
2024年3月下旬	学位授与

※審査の状況により、スケジュールに変更となる場合があります。

※このスケジュールとは別に9月授与の制度があります。

3. 審査の体制

指導教員等審査規程に該当する教員から主査委員1名、副査委員2名が選出され、論文審査委員会を設置します。なお、副査委員については、必要と認められた場合、他の大学や大学院若しくは研究所等の教員が務めることもあります。

審査結果は、論文審査委員会の報告に基づき研究科教授会にて判定され、最終的に学長が決定します。

4. 予備審査を申請するための条件

予備審査を申請できる院生は、以下の基準のうち一つ以上を満たしている、または学位論文審査を受ける前までに確実に一つ以上を満たす見込みがあることとしています。

- (1) 論文審査規程のある学会論文誌等において、単著あるいは筆頭著者として、研究論文が1編以上受理され採録または採録決定であること。条件付採録も可とする。投稿予定あるいは投稿中は不可とする。
- (2) 認知された出版社から研究成果を単著として1編以上出版または出版決定している

5. 予備審査申請

上記の条件を満たしており、予備審査を申請する院生は、期限内に、研究指導教員の承認を得た上で、下記①～④を大学院事務室を通じて学長に提出してください。

- ①「博士論文審査【課程博士】予備審査申請書」 1部（様式第1号）
 - ②博士論文の草稿 5部（フラットファイルに綴じたもの）
 - ③博士論文要旨の草稿 5部（邦文及び英文／上記②とともにフラットファイル綴じ）
 - ④「博士論文審査【課程博士】申請資格確認票」 1部（様式第2号）
- ※上記④の内容に関する書類も漏れなく添付すること。

6. 予備審査申請書類の受理審査

予備審査の申請書類は、研究科運営委員会が確認を行い、学長が受理の可否について決定します。受理審査の結果は、「博士論文審査【課程博士】予備審査にかかる受理審査結果通知書」により通知されます。

7. 予備審査

予備審査は、論文審査委員会が博士論文の内容審査を行うとともに、今後の研究の進め方や基準を満たしているか等について審査会を開催して確認を行います。時間は、申請者発表 20 分、口頭試問 70 分を目安とし、発表時はスライドを用いることが可能です。

予備審査の結果は、大学院研究科教授会で判定され、学長に報告されます。予備審査の結果は、「博士論文審査【課程博士】予備審査結果通知書」にて通知されます。合格であった場合は直近の博士論文審査に限り申請することができます。また、不合格の場合は在学年限内に限り、改めて予備審査を申請することができます。

8. 博士論文審査申請

学位申請予定論文が予備審査に合格した場合、博士論文審査を申請することができます。この申請は在学年限内の1度に限りです。

審査を申請する院生は、期限内に、研究指導教員の承認を得た上で、下記①～⑧を大学院事務室を通じて学長に提出してください。

- ①「博士論文審査【課程博士】審査申請書」 1部（様式第3号）
- ②博士論文 5部（フラットファイルに綴じたもの）
- ③博士論文要旨（邦文および英文） 5部（邦文及び英文／上記②とともにフラットファイル綴じ）
- ④予備審査後に受領した「博士論文審査【課程博士】予備審査結果通知書」の写し 1部
- ⑤「博士論文審査【課程博士】申請資格確認票」 1部（様式第2号）
- ⑥「博士論文審査【課程博士】研究論文目録」 1部（様式第4号）
- ⑦研究論文ファイル 5部（上記⑥に記載した参考論文／フラットファイルに綴じたもの）
- ⑧「博士論文審査【課程博士】履歴書」 1部（様式第5号）

9. 博士論文審査申請書類の受理審査

博士論文審査の申請書類は、研究科運営委員会が確認を行い、学長が受理の可否について決定します。受理審査の結果は、「博士論文審査【課程博士】受理審査結果通知書」により通知されます。

10. 博士論文審査

論文審査委員会が、提出された論文について、以下の基準により審査し、最終試験を学内に公開で実施します。

< 基準 >

①テーマ

学術的・社会的意義を明確に意識したテーマ設定がなされているか

②研究の位置づけ

先行研究や関連研究が幅広く十分に渉猟され、的確に理解されたうえで問題設定がなされているか

③論文構成・体裁

テーマに沿って問題が適切に設定され、一貫した論述が展開された上で明確な結論が論理的に導き出されているか

④研究方法

テーマおよび問題設定にふさわしい研究方法が選択されているか
資料の取り扱いや分析結果の解釈は妥当か

⑤新規性

テーマや問題設定、研究方法や結論等に、学術的・社会的に注目すべき新規性が認められるか

時間は、申請者発表 45 分、口頭試問 90 分を目安とし、発表時はスライドを用いることが可能です。口頭試問は博士論文を中心に、関連のある研究領域を対象とします。

11. 博士論文審査の修正

論文審査委員会が合格と仮判定した博士論文についてのみ、同委員会が必要と認めた場合に限り、博士論文審査・最終試験終了後の 1 週間以内に当該論文の誤字・脱字のみ修正を行うことができます。期限内に、研究指導教員の承認を得た上で、下記①～③を大学院事務室を通じて論文審査委員会に提出してください。

①修正後の博士論文 5 部（フラットファイルに綴じたもの）

②修正後の博士論文要旨（邦文および英文） 5 部

（邦文及び英文／上記②とともにフラットファイル綴じ）

③修正一覧 5 部

（任意様式／ページ数、行数、新・旧の表記を明記／上記①②とともにフラットファイル綴じ）

なお、修正の有無にかかわらず、提出された博士論文は研究科教授会の構成員に対して、本学鶴岡キャンパスおよび酒田キャンパスにて閲覧に供されます。

1 2. 博士論文審査の結果通知

審査の結果は、大学院研究科教授会で判定され、学長に報告されます。予備審査の結果は、「博士論文審査【課程博士】審査結果通知書」にて通知されます。

1 3. 学位授与

博士論文審査に合格した院生に学位を授与します。

1 4. 博士論文の要旨および全文の公表

(1) 博士論文の要旨

本学ホームページに掲載します。

2024年3月24日（日）までに、博士論文審査・最終試験で合格となった論文の要旨のPDFファイルを大学院事務室に提出してください。

(2) 博士論文の全文

ハードカバー製本されたものは致道ライブラリーにて所蔵、PDFデータは本学リポジトリに掲載します。

2024年5月31日（金）までに、博士論文審査・最終試験で合格となった論文全文をハードカバー製本し、その2部とPDFファイルを大学院事務室に提出してください。

やむを得ない事由（例：立体形状による表現を含む、著作権や個人情報に係る制約がある、出版刊行（予定）・学術ジャーナルへの掲載（予定）がある、特許の申請（予定）等）がある場合には、研究科教授会の議を経て、当該論文の全文に代えて、その内容を要約したものを掲載することも可能です。（やむを得ない事由が解消された場合には、全文を掲載します。）

1 5. 学位の取り消しについて

本学において学位を授与された方が、不正の方法により学位の授与を受けた事実があったとき、または学位の名誉を汚辱する行為があったときは、授与した学位を取り消し、学位記を返付させ、かつその旨を公表します。

1 6. その他

論文の記載の仕様については下記を目安としてください。（あくまで目安のため、指導教員に相談してください。）

- | | | |
|-------|---|----------------|
| ・用紙 | … | A4判縦、白色、片面のみ記入 |
| ・余白 | … | 上下左右すべて20mm |
| ・行数 | … | 1枚あたり40行 |
| ・フォント | … | 11ポイント、黒色、明朝系 |
| ・記入方法 | … | 横書き |

・フラットファイルおよび論文表紙の記載例は別紙を参照してください。

・提出する書類が1種類につき複数枚あり且つフラットファイル綴じの指定がない場合は、クリップ留めしてください。（ステープラー留めはしないでください。）

・不明な点がある場合は、時間に余裕をもって指導教員に確認してください。